

みんなで森林づくり よみがえれ!「野幌の森」

その後レポート No.3

平成23年5月19日

平成16年9月の台風により野幌森林公園で風倒被害が発生しました、これを受け「100年前の原始性が感じられる森林」を目標に『みんなで森林づくりよみがえれ!「野幌の森」』と題して市民のみなさんと協働ですすめてきた森林づくり現地のその後をレポートします。

岩の上にも? 3回目の下草刈をしました

平成20年度より毎年市民ボランティアを募集し行っている下草刈りを平成22年度も40名の一般参加者により実施しました。植栽木だけでなく自然に生えてきた稚樹も大事に育てるため、目印を付けながら作業をすすめました。

生分解性のテープで稚樹に表示を付けるのは骨の折れる作業です。

6月上旬はスズメバチが巣作りをはじめの時期なので、蜂対策としての防蜂網や防蜂手袋などを付けて作業します。重装備ですが、「安心感がある」と好評です。

下草刈りは植栽木などが大きくなるまで今後も続けていきます。



真剣なまなざしで鎌の使い方を聞く参加者



大鎌を持ち作業開始

平成17年、18年、19年と3年間で植えた木もずいぶん大きくなりました。

樹高単位: cm

植栽年度	平成17年(クリの巨木)					平成18年(モミジコース)					平成19年(開拓記念館)			
	H18	H19	H20	H21	H22	H18	H19	H20	H21	H22	H19	H20	H21	H22
トドマツ	35	59	80	105	131	43	57	84	112	133	40	40	48	70
エゾマツ	78	95	125	159	194									
アカエゾマツ	48	58	80	112	146									
ミスナラ	53	69	102	148	157	38	40	57	89	111	36	34	46	63
ハルニレ	72	114	143	183	173	39	72	104	141	152	54	60	79	122
ヤチダモ	77	105	127	183	219	66	86	119	138	173	48	61	66	102
イタヤカエデ	70	99	134	131	136	52	58	83	114	152	44	38	49	76
ヤマモミジ	53	76	66	98	52									
キタコブシ	63	79	82	109	128									
カツラ						75	97	108	156	108	48	42	58	88
平均	61	84	104	136	149	52	68	93	125	138	45	46	58	87

また、自然に生えてきたセンノキ、ウダイカンバ、シラカバ、コシアブラ、アサダ、ベニイタヤ、キハダ、ニガキ、ホオノキ、ケヤマハンノキ、エゾノバッコヤナギなども目立つようになり目標としている森林に少しずつ近づいているように感じられます。

春の雪解けの時は、あちらこちらに水たまりができます。水たまりではエゾアカガエルが産卵したり虫の幼虫が生息したりアブラガヤなどの湿性植物が暮らしています。

けれども苗木にとって水たまりは大敵で、根が呼吸できなくなり苗木は枯れてしまいます。水たまりの箇所は生育条件が厳しく天然の樹木もなかなか生えてきません。そこで、枯れてしまった苗木の場所に土を盛ってヤチダモを植えました。今年も同じ手法でミズナラとイタヤカエデを植えました。

新しく植えた苗木も頑張って枝を伸ばしています。



水たまりの中は生き物がいっぱい



エゾアカガエルの卵

春先の造林地は、雪で折れたり動物にかじられたりで痛々しい姿の木が目立ちます。

台風の後など、開けた場所では4年～5年目にウサギの被害が急増する傾向があります。餌がとりやすく隠れやすい場所ができることが理由だそうです。下草刈りには苗木の成長を促進するだけでなくウサギが住み着きにくい環境を作るという効果もありそうです。

ウサギやネズミに食べられた痕が痛々しかった苗木も、芽生えの頃には緑の葉を広げたくましい生命力を感じさせてくれます。



ウサギの食痕



ネズミの食痕



今後も風雪など色々な苦難に耐えながら伸びていくものと思います。今年下草刈りを6月12日(日)、13日(月)に計画しています。森林の様子をみがてら是非ご参加ください。

石狩地域森林環境保全ふれあいセンター(http://www.rinya.maff.go.jp/hokkaido/ishikari_fc)

〒064-0809 札幌市中央区南9条西23丁目1-10

TEL 011-533-6741 FAX 011-533-6743 E-mail h_ishikari_f@rinya.maff.go.jp